

＝ 裏方さんが主役 ＝

—舞台芸術を裏から支える「裏方さん」を対象とした—

第28回 「ニッセイ・バックステージ賞」

受賞者決定のお知らせ

2022年10月

公益財団法人 ニッセイ文化振興財団
〔 日生劇場 〕

本件に関するお問合せ

公益財団法人ニッセイ文化振興財団

担当：常務理事・事務局長 今村 康明 (イマムラ ヤスアキ)
事務局長 桃原 康二郎 (トウバル コウジロウ)

TEL：(03)3503-3115 FAX：(03)3581-3493

<https://www.nissaytheatre.or.jp/>

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目1番1号

1. 『ニッセイ・バックステージ賞』の創設

公益財団法人ニッセイ文化振興財団〔理事長 松山保臣〕では、舞台芸術を裏から支え、優れた業績を挙げておられる舞台技術者＝いわゆる「裏方さん」を表彰し、永年の功績を讃えるとともに、後継者の育成を目指し、『ニッセイ・バックステージ賞』を1995年に創設しました。

2. 候補者の推薦

第28回を迎えました本年は、全国の舞台芸術関係者等約2300名に推薦をお願いし、去る4月30日に締切りましたところ、80件、49名の優れた方々を候補者としてご推薦いただきました。

これらの候補者は、いずれも永きにわたって舞台芸術を支え、大きな成果を積み重ねられ、また後進の指導、育成にもご尽力されてきた方々です。

3. 受賞者の決定

受賞者の選考は、舞台芸術界において指導的役割を果たしておられる有識者によって慎重に審議され、次の御二方に第28回「ニッセイ・バックステージ賞」の贈賞を決定いたしました。（年齢順・敬称略）

フタ ムラ トシ ユキ
二 村 利 之 劇場運営・演劇プロデューサー

1945年名古屋市生まれ。名古屋タイムズ社文化部記者を経て、1972年に七ツ寺共同スタジオを名古屋市中区に創設。「自由な、開かれた表現活動の場」を目指し、演劇を中心に、舞踏・映像・音楽等様々なジャンルの公演を同スタジオにて上演。ながきに亘り地域の演劇文化を裏から支え、芸術文化の振興に多大な貢献を果たしている。

オオ フジ レイ コ
大 藤 玲 子 コレペティトゥア

1953年東京都生まれ。1979年より二期会オペラ振興会（現 東京二期会）にてコレペティトゥアとして、現在に至るまで40年以上に亘り活躍。また、新国立劇場オペラ研修所にて講師を務める傍ら、国際コンクールの公式伴奏者としても活動する等、若い才能の育成を通じ、日本オペラ界の発展に尽力している。

※『受賞者の業績・経歴』については、〔資料1〕をご参照ください。

4. 表彰内容

受賞者には次のとおり、賞状・記念品・賞金・年金を贈呈いたします。

- 賞状
- 記念品
- 賞金：100万円
- 年金：年額50万円（70歳支払開始、終身年金）

5. 贈賞式

贈賞式を、下記にて予定しています。

- 日 時：2022年11月29日（火）午後2時～3時
- 場 所：日生劇場
東京都千代田区有楽町1丁目1番1号

※『表彰要綱』『これまでの受賞者』については、〔資料2〕〔資料3〕をご参照ください。

第28回『ニッセイ・バックステージ賞』

受賞者の業績・経歴

(年齢順・敬称略)


 フタ ムラ トシ ユキ
 二村利之

劇場運営・演劇プロデューサー

1945年名古屋市生まれ。名古屋タイムズ社文化部記者を経て、1972年に七ツ寺共同スタジオを名古屋市中区に創設。「自由な、開かれた表現活動の場」を目指し、演劇を中心に、舞踏・映像・音楽等様々なジャンルの公演を同スタジオにて上演。流山児祥やつかこうへい、山崎哲等国内の著名な劇作家・演出家の公演を招聘し、前衛的な活動を紹介するとともに、数多くのプロデュース公演を手掛け、若手表現者を発掘・育成し活躍の場を提供してきた。代表的な公演・企画に澁澤龍彦の遺作を舞台化した野外劇「高丘親王航海記」(1992年/脚色・演出 天野天街)や国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」(現 国際芸術祭「あいち」)にて“舞台芸術と美術の出会い”をテーマに劇場空間を活用した「往還 演劇と美術との出会いのためのインスタレーションと上演」(2010年)等がある。また、同スタジオの記念誌として発刊した、「空間の祝杯—七ツ寺共同スタジオとその同時代史—」(25周年誌・1999年)、「空間の祝杯II—連動する表現活動の軌跡—」(40周年誌・2014年)は日本のアングラ演劇、サブカルシーンを俯瞰する同時代史となっている。現在も同スタジオ顧問として劇場運営を支える傍ら、沖縄の作家 崎山多美の原作を朗読劇としてプロデュースする等、精力的に活動、ながきに亘り地域の演劇文化を裏から支え、芸術文化の振興に多大な貢献を果たしている。

(受賞歴)

2016年度愛知県芸術文化選奨(文化賞) ほか


 オオ フジ レイ コ
 大藤玲子

コレペティトゥア

1953年東京都生まれ。日本オペラ協会(現 日本オペラ振興会)、藤原歌劇団、東京オペラプロデュース等でコレペティトゥアとしてのキャリアをスタート。1979年より二期会オペラ振興会(現 東京二期会)にて音楽スタッフとして、現在に至るまで40年以上に亘り活躍。オペラ歌手への個人稽古や音楽表現を含めた助言に加え、指揮者・演出家への橋渡し役として、オペラ公演の成功を裏から支えている。1985年には文化庁在外派遣研修員としてベルリンに留学し、レースナー教授のもとオペラ、ドイツリート伴奏法を学び、1995年には在外派遣特別研修員としてミュンヘンに留学、リヒャルト・トリンボルンのもとワーグナーの伴奏について研鑽を積む。また、1997年より新国立劇場にて音楽スタッフとして、同劇場開場記念公演「ローエングリン」や「ニーベルングの指環」等数多くのオペラ公演に参加する中で、海外の著名な指揮者との仕事を通じコレペティトゥアとしての経験を深めた。その仕事ぶりは国内外の多くの指揮者から絶大な信頼を得ている。特に、日本を代表する指揮者 若杉弘より高い評価を得、同氏が指揮する多くの公演に参加した。さらに、昭和音楽大学や東京藝術大学、文化庁オペラ研修所での講師を経て、現在は新国立劇場オペラ研修所にて講師を務める傍ら、国際コンクールの公式伴奏者としても活動する等、若い才能の育成を通じ、日本オペラ界の発展に尽力している。

『ニッセイ・バックステージ賞』表彰要綱

公益財団法人 ニッセイ文化振興財団

表彰対象	舞台芸術を裏から支え、舞台づくりに貢献し、優れた業績を挙げておられる舞台技術者＝「裏方さん」（原則として、現役でご活躍中の個人） ※当財団役職員並びに評議員は表彰対象から除きます
分野(例)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大道具、小道具、照明、音響、特殊効果、衣裳、着付、靴、床山、メイク等の業務従事者及びそれらの製作部門のすべて ※プランナー、デザイナーは除きます ■ 舞台機構（迫り、吊り物等）の操作技術者 ■ プロンプター、コレペティトウア、オーケストラマネージャー、調律師、ライブラリアン ■ バレエ・ミストレス ■ 狂言方、附打 ■ 劇場やホールの運営、舞台及び楽屋の管理、案内、窓口業務従事者 ■ 台本翻訳、通訳 ■ プロデューサー、舞台監督、演出助手
選考の視点(例)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 永年、裏方として優れた舞台づくりに貢献している人材 ■ 舞台芸術を支える各分野で革新的な技術を開発し、または将来を嘱望するに足る実績を示した人材 ■ 舞台技術の後継者の育成に尽力している人材 ■ 全国各地で地道な活動で舞台芸術を支えている人材
表彰者数	毎年 2名以内
表彰内容	賞状及び記念品 賞金：100万円 年金：年額50万円（70歳支払開始、終身年金）
選考方法	全国の舞台芸術有識者の方々からご推薦(自薦を除く)をいただき、選考委員会で審査の上決定します
選考委員 (五十音順・敬称略)	織田 紘二 (元国立劇場理事) 勝柴 次朗 (公益社団法人日本照明家協会 名誉顧問) 岸田 生郎 (昭和音楽大学 客員教授) 佐藤 信 (劇作・演出家/座・高円寺 芸術監督) 高田 一郎 (舞台美術家/武蔵野美術大学 名誉教授) 永井 多恵子 (公益財団法人せたがや文化財団 顧問) 野村 萬 (公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 会長) 松山 保臣 (公益財団法人ニッセイ文化振興財団 理事長) (2022年3月現在)
募集締切	2022年4月30日(土)
発表	2022年10月中旬
贈賞式	2022年11月29日(火) 午後2時から3時まで 場所：日生劇場
お問合せ先	公益財団法人ニッセイ文化振興財団 担当：常務理事・事務局長 今村 康明 (イマムラ ヤスアキ) 事務局次長 桃原 康二郎 (トウバル コウジロウ) TEL：(03) 3503-3115 FAX：(03) 3581-3493 URL：https://www.nissaytheatre.or.jp/ 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目1番1号

『ニッセイ・バックステージ賞』これまでの受賞者の方々

公益財団法人 ニッセイ文化振興財団

受賞年度	ジャンル	氏名
第1回 (1995年)	歌舞伎「床山」	那須 武雄
	新劇衣裳製作	河盛 成夫
	文楽人形「かつら、床山」	名越 昭司
第2回 (1996年)	舞台監督	田中 好道
	オペラプロデューサー	河内 正三
	歌舞伎衣裳縫製	菅谷マチ子
第3回 (1997年)	日本物舞台衣裳製作	中川 菊枝
	伝統芸能小道具製作	杉山 好二
	チェンバロ製作・調律	百瀬 正二
第4回 (1998年)	ホール案内業務	大村 いね
	琉球伝統芸能の琉髪結髪	小波 則夫
	大道具製作(背景)	工藤 和夫
第5回 (1999年)	演劇プロデューサー	倉林 誠一郎
	舞台照明	阿部 吉之助
	文楽小道具	和田 時男
第6回 (2000年)	舞台音響効果	作本 秀信
	小道具の製作	松家 公
	演劇道具の輸送	榎野 明
第7回 (2001年)	演劇鑑賞団体の運営	岡田 文江
	ステージ・マネージャー	宮崎 隆男
	演劇の通訳	垣ヶ原 美枝
第8回 (2002年)	児童合唱団の運営	皆川 和子
	地芝居振付	松本 団升
	バレエ衣裳製作	大井 昌子
第9回 (2003年)	劇人形デザイン・製作	保坂 純子
	大道具・背景画	山本 富二夫
第10回 (2004年)	劇場運営・演劇プロデューサー	山根 淑子
	小道具等特殊美術製作	藤野 級井
第11回 (2005年)	歌舞伎背景画	後藤 芳世
	舞台監督	田原 進
第12回 (2006年)	劇場運営	伊藤 英子
	調べ司	山下 雄治

受賞年度	ジャンル	氏名
第13回 (2007年)	舞台美術	板坂 晋治
	オペラ合唱	新小田 大
第14回 (2008年)	大道具大工	原田 國利
	衣裳・小道具製作	小寺 洋子
第15回 (2009年)	人形劇プロデューサー	宇野 小四郎
	歌舞伎「床山」	三浦 菊雄
第16回 (2010年)	演劇鑑賞団体の運営	川述 文男
	オペラ合唱指揮	及川 貢
第17回 (2011年)	ライブラリアン	龍前 範子
	舞台監督	川口 浩三
第18回 (2012年)	舞扇の製作	福井 四郎
	ピアノ調律	山田 宏
第19回 (2013年)	舞台監督	金一 浩司
	歌舞伎「ツケ打ち」	芝田 正利
第20回 (2014年)	かつら製作	石川 卓男
	音響効果オペレーション	富田 健治
第21回 (2015年)	舞台美術 背景画家	新城 榮徳
	歌舞伎「狂言作者」	竹柴 正二
第22回 (2016年)	箏の製作・調整・舞台設営	山中 正夫
	オペラ衣裳製作	下斗米 雪子
第23回 (2017年)	舞台音響効果	田村 恵
	パイプオルガンの設置・調律・保守	望月 廣幸
第24回 (2018年)	大道具	松崎 政男
	文楽人形衣裳縫製	牧野 圭子
第25回 (2019年)	大道具製作	佐藤 哲夫
	劇場経営・演劇プロデュース	福本 年雄
第26回 (2020年)	オペラ制作・字幕監修	杉 理一
	特殊小道具製作	田中 義彦
第27回 (2021年)	音響クリエイター・オペレーター	高橋 嘉市
	文楽背景画製作	岡本 義秀

(年齢順・敬称略)